

2006年6月3日

## 2006年度第1回談話会開催のお知らせ

関西支部支部長

大学英語教育学会関西支部事務局

〒522-8533 彦根市八坂町 2500

滋賀県立大学 小栗裕子研究室内

薄暑の候、会員の皆様にはますますご健勝のことと拝察いたします。

さて、今年度の第1回談話会を下記の要領で開催したく存じます。奮ってご参加いただきますようご案内いたします。

### 記

日時： 2006年7月1日（土曜日） 16時15分-17時45分（受付は16時00分から）

場所： 関西外国語大学中宮キャンパス1号館 1 2 1 7 教室

〒573-1001 大阪府枚方市中宮東之町16-1 TEL: 072(805)2801

<http://www.kansaigaidai.ac.jp/www/j0000001.htm>

講師： 東眞須美氏（神戸芸術工科大学）

司会： 奥田隆一氏（和歌山大学）

演題： TEFLにおけるメタフォリカル コンピテンスの研究

資料代： 会員無料 非会員500円

事前申込不要。直接会場にお越しください。

お車でのご来館は、ご遠慮ください。

談話会終了後、懇親会を予定しております。

場所： たちばなや（枚方市駅前）

〒573-0032 大阪府枚方市岡東町8-6 現代枚方駅前ビル2F TEL:072(804)0087

会費： 3,000円程度

申し込み：6月21日（水）までに、担当幹事の小栗裕子先生（[yoguri@ice.usp.ac.jp](mailto:yoguri@ice.usp.ac.jp)）までご連絡ください。なお、会費は当日徴収いたします。

## 講演概要

比喩的表現 (figurative expressions) は母語ではあまり意識せずに見聞きし、学習言語では教える側も学ぶ側もあまり注意を払わずに過ごしているように思われる。もしそうなら、興味深く奥深い要素を含むことばの認知のメカニズムを見逃してしまう。比喩的表現には様々の figures of speech が含まれる。かつては修辞の意味合いが強かったが認知科学の発展とともに、言語とのかかわり、ひいては、人間の認知との関わりという点から注目されるようになった。言語面における欧米でのメタファー研究はこの面を強調している。今回の談話会において、比喩の中でも最近応用言語学で注目されているメタファー (多少メトニミーを含む) を中心にして、ことばと思考のメカニズムを対象にするメタファーの研究、および、日本人英語学習者がどのようにメタフォリカルな表現を理解し運用するか (メタフォリカル コンピテンス、metaphorical competence) に焦点を当てる。

話をまず我が国におけるメタファーという用語の使用起原からスタートし、海外の認知言語学で議論されるメタファー研究の主要なものを概観。次いで、海外の応用言語学で議論されるメタファー・メタフォリカル コンピテンスの研究の中から参考になるものに言及し、最後に、EFL 環境においてこの問題をどのように考えればよいかに進み、日本では比較的新しいこのテーマを考える機会にしたい。

メタファーはイディオムとも関係が深く、また、意味の拡張へ繋ぐ役割を果たす。メタファーのメカニズムを応用して前置詞を説明する例は多いし、メタファーの理解と運用にはスキーマ、イメージスキーマ、マッピング・ブレンディング・ネットワーク、アナロジカルリーズニングなど人の認知作用全般が関わるので、言語学習の面からも無視できない。Linguistic competence とともに、あるいは、それに包含される形で metaphorical competence を考えてもいいのではないか。

我々の思考や行動はメタファーに根ざしているという研究者は多い (G. Lakoff and M. Johnson, 1981; R. W. Gibbs, 1994、他)。Lakoff & Johnson 曰く “Our ordinary conceptual system, in terms of which we both think and act, is fundamentally metaphorical in nature” (*Metaphor We Live By*, 1981: 3)。メタファーの研究は「ことばと認知」という観点から興味深い研究テーマである。

## 講師プロフィール

神戸芸術工科大学教授。関西大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得。Columbia University Teachers College で TESOL MA, The University of Nottingham で Ph.D. (in English Studies)。

研究分野は英語教育。最近の研究は日本人英語学習者の学習言語におけるメタフォリカル コンピテンス、メタフォリカル コンピテンスに関わる母語 (母語知識) の功罪。共同研究としてゲシュタルトと比喩的理解との関連性。

主な著書: 『英語科教育法ハンドブック』 (大修館書店、1992)、『世界の外国語教育政策・日本の外国語教育の再構築に向けて』 (共著、東信堂、2004)、『*Metaphorical Competence in an EFL Context – the mental lexicon and metaphorical competence of Japanese EFL students* – (東信堂、2005)、他。